

東京大学大学院情報理工学系研究科
知的情報処理英語プログラム

別表

1. 授業科目

科目種別	授業科目名等	単位数	履修方法	備考
A (共通)	研究倫理	0.5	必修	各自の専攻・課程に対応するもの
	コンピュータ科学修士輪講Ⅰ・Ⅱ	各1		
	コンピュータ科学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ	各6		
	実践英語対話表現演習	1		
	又は			
	数理情報学輪講Ⅰ・Ⅱ	各2		
	数理情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ	各6		
	又は			
	システム情報学輪講Ⅰ・Ⅱ	各2		
	システム情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ	各6		
	又は			
	電子情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ	各2		
	電子情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ	各5		
	又は			
	知能機械情報学修士輪講Ⅰ・Ⅱ	各2		
	知能機械情報学修士特別研究Ⅰ・Ⅱ	各6		
	又は			
	創造情報学修士輪講	2		
	創造情報学修士演習	2		
	創造情報学プロジェクト実践修士研究	10		
	実践英語演習	1		
	又は			
	コンピュータ科学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2		
	コンピュータ科学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4		
	又は			
	数理情報学博士輪講Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各1		
	数理情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4		
	又は			
	システム情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4		
	又は			
	電子情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4		
	又は			
	知能機械情報学博士特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4		
	又は			
	創造情報学博士輪講	2		
	創造情報学プロジェクト実践博士研究	12		
	実践英語特別演習	1		
B (基盤)	論文構成法	2	選択必修 (修士)	修士は B～D から 14 単位 以上
	脳科学特論Ⅰ	2		
	脳科学特論Ⅱ	2		
	脳型情報処理機械論	2		
	知能機械情報学特別講義Ⅱ	2		
	知能機械情報学演習	2		

	GCL 情報理工学特別講義 IX (Academic Presentation)	1		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義 I (Academic Communication)	2		
	大学院工学系研究科日本語教育部門による講義※	1～10		
C (コア)	自然言語処理応用	2	選択必修	修士が C から 8 単位以上、 博士が C～D から 2 単位以 上
	量子計算論	2		
	先端データ解析論	2		
	近似・オンラインアルゴリズムとその応用	2		
	情報セキュリティのためのアルゴリズム	2		
	リモートセンシング画像解析	2		
	コンピュータ科学特別講義 III (Efficient Search Methods in Artificial Intelligence)	2		
	連続情報論	2		
	非線形現象論	2		
	数理構造論	2		
	物理情報論	2		
	バイオサイバネティクス	2		
	システム制御論	2		
	画像システム特論	2		
	アドバンスド・コンピュータアーキテクチャ	2		
	ネットワークアーキテクチャ	2		
	自然言語処理	2		
	認知メディア論	2		
	視覚インタラクション研究設計	2		
	ウェブ工学	2		
	先端機械学習	2		
	離散情報論	2		
	物理ベース・アニメーション論	2		
	GCL 情報理工学特別講義 V (機械学習手順技法)	2		
	GCL 情報理工学特別講義 VII (強化学習)	2		
	情報理工学英語特別講義 IV (Probabilistic Generative Models Applied to Musical Audio Data)	2		
D (発展)	計算科学アライアンス特別講義 I	2	選択必修 (修士)	修士は B～D から合計 14 単位以上
	計算科学アライアンス特別講義 II	2		
	インターンシップ I	1		
	インターンシップ II	2		
	データサイエンス実践演習 I	2		
	データサイエンス実践演習 II	2		
	情報理工学英語特別講義 II (国際研究インターンシップ)	2		

なお、B, C, D の科目は情報理工学系研究科の講義リストにあわせて更新されるので、ホームページで常に最新の情報を確認すること。

別表の講義を参照して、2025 年度に学生が取得可能な単位合計を計算する。他年度で単位認定される講義の情報については、それぞれの年に公開された表を参照のこと。

※2025 年度開講の日本語教室講義リスト：

<https://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/en/course/>

2. 国際交流実績ポイント

日本人学生は国際交流実績ポイントの取得が必要である。

- ・海外派遣・学会参加等

海外滞在日数 1 日につき 1 ポイント。

E-ticket のコピー、および、用務内容が分かる書類（学会ウェブページ、訪問先からのメール、等）を電子メール等で情報理工学系研究科 情報理工学国際センターに送付すること。国際会議での口頭発表・ポスター発表は 2 ポイントを追加する。学会プログラムを添付のこと。

- ・研究科主催の留学生交流行事参加

参加 1 回につき 1 ポイント。

イベントのウェブページ、担当する教職員とのメールのやり取りなど、業務内容が分かる書類を情報理工学系研究科 情報理工学国際センターに電子メールで送ること。

以 上